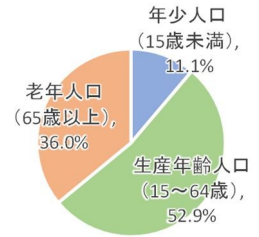


	世帯数	人口	年齢別人口
現在	121 世帯	314 人	15 歳未満 (年少人口) 35 人
			15~64 歳 (生産年齢人口) 166 人
			65 歳以上 (老年人口) 113 人
約 50 年前	86 世帯	395 人	



歴史等

大貫の地名の由来は不明ですが、古くから播州はもちろん、但馬方面の人々のお伊勢参り街道として栄え、東西に大きく貫く街道で、南は瀬戸内海まで一望できる土地から大貫と地名が付けられたとも言われています。かつては、街道沿いに茶屋、めし屋、宿屋も点在し、道しるべの碑も数多くありました。

古代律令制では播磨国神前郡川辺里、中世は田原荘に含まれたと考えられます。元禄年間(1688~1704)の『元禄郷帳』に「古ハ大貫村、西大貫村」とあるように、元禄年間以前に、大貫村が東大貫村・西大貫村・南大貫村に分村して成立しました。大貫村は、近世は豊臣氏の領地となった後、慶長5年(1600)からは姫路藩領となりました。慶長年間(1596~1615)、池田輝政が姫路城築城の際、天守閣心柱の大木を切り出した跡地を城の鬼門除の祈願所としましたが、それが大善寺の荒神堂で、明治初年まで毎年正月・5月・9月に姫路城内で祈禱会が行われました。明治11年(1878)に大貫村の一部となりました。

船舶の大型化やロケット開発などで活躍した福崎町の名誉町民である吉識雅夫の故郷(本籍地)でもあります。



おかげ灯籠 (日吉神社)



神輿 (日吉神社)



秋祭り・屋台



相山古墳



大善寺のカヤ



宝篋印塔 (日光寺)

※現在の人口・世帯数・年齢別人口は令和4年5月末時点、10年間の人口・世帯数の推移は各年5月末時点、約50年前の人口・世帯数は昭和52年6月末時点であり、いずれも住民基本台帳による値です。なお、年齢別人口のみ外国人を含む値になっています。

歴史文化遺産一覧

分類	名称	年代	概要	歴史文化ものがたり						
				①	②	③	④	⑤	⑥	
建造物 石造物	1	おかげ燈籠	天保4年 (1833)	おかげ参りは、江戸時代の伊勢神宮への集団参宮のことで、おかげ踊りは、文政13年・天保元年(1830)のおかげ参りに関連して河内国で発生し、翌年の天保2年にかけて畿内を中心に流行した。おかげ燈籠はおかげ参りに関連する銘文をもつ燈籠で、この燈籠は市川流域まで「おかげ踊り」が伝播していたことを示す貴重なものである。 【町指定有形文化財】				●		●
	2	如意輪観音坐像(日光寺)	不明	如意輪観音の石仏。岩場に小祠を設けて安置されている。				●		
	3	三十三カ所観音(日光寺)	不明	境内に西国三十三所札所の本尊を写した石仏が三十三基造立され、それぞれに番数と寺名、それを供養した人物などが刻まれている。				●		
	4	八十八所霊場石仏(大善寺)	江戸期	江戸期に造立された四国八十八所霊場札所の本尊を写した石仏を安置した小石祠。				●		
	5	地藏菩薩立像(日光寺)	不明	地藏菩薩の石仏。背面には「以大覚通方□度 妙公□在諸悪趣」、台座正面には「為一応試覚居士 法岸禾且奉大姉 菩提」と記されている。				●		
	6	六地藏(西大貫西墓地)	万延元年 (1861)	六地藏の石仏。うち1基の正面には造立年月日が記されている。				●		
	7	読誦塔(大善寺)	天明2年 (1782)	正面には「□徳□人放一切我等不衆生皆共成仏道」と記され、左に造立年月日等が記されている。				●		
	8	万人・千人供養塔(大善寺)	正徳2年 (1712)	正面には造立年月・願主等とともに、梵字と「南無地藏大菩薩」の文字が記されている。基礎等はなく、山の斜面に立てかけられている。				●		
	9	鳥獣供養塔(大善寺)	昭和28年 (1953)	正面には犬の像容とともに「犬塚」の文字、右に造立年月、左に施主の名が記されている。				●		
	10	廻国塔(日光寺)	不明	地藏立像(えりたて地藏)の台石。正面には願主の名とともに「日本回国供養塔 天下和順 日月清明」と記されている。三十三カ所観音の端に位置する。				●		

※歴史文化ものがたり：①学問・芸術文化のふるさと、②郷土の暮らし、③ため池・疎水と生業、④祭りと信仰、⑤人・物・情報の十字路口、⑥播磨のなかのふくさき

分類	名称	年代	概要	歴史文化ものがたり						
				①	②	③	④	⑤	⑥	
建造物 石造物	11	石鳥居（日吉神社）	弘化2年 (1845)	石鳥居。右柱正面には施主、左柱正面には造立年月日等が記されている。				●		
	12	石灯笼（日吉神社）	寛政5年 (1793)	石灯笼。正面には「常灯明」、右に造立年月、左に願主が記されている。				●		
	13	石灯笼（日吉神社）	文化2年 (1805)	左右一対の石灯笼。左右ともに正面には「御神灯」、右灯笼の背面に願主、左灯笼の背面に造立年が記されている。				●		
	14	石灯笼（大善寺）	文化9年 (1812)	左右一対の石灯笼。正面には「瑠璃灯」、右に造立年月日が記されている。護摩堂の前に位置する。				●		
	15	石灯笼（日吉神社）	文化10年 (1813)	左右一対の石灯笼。左右ともに正面に「御神灯」、右灯笼の背面に願主、左灯笼の背面に造立年が記されている。				●		
	16	石灯笼（日吉神社）	文化12年 (1815)	石灯笼。正面には「常夜灯」、右に造立年月、左に願主が記されている。				●		
	17	石灯笼（日吉神社）	明治40年 (1907)	左右一対の石灯笼。左右ともに正面に「揚輝」、基礎の側面に石商が記されている。右灯笼の右には献納者、左には由来等、背面には造立年月、左灯笼の右には由来等、左には造立年月が記されている。				●		
	18	石灯笼（大善寺）	不明	石灯笼。火袋の南面と北面に、月輪に種子を刻み、竿の下部には地藏立像を刻む。以前は八十八所霊場石仏群のある山の斜面に位置していたが、倒れていたため現在地に移された。				●		
	19	手水石（日光寺）	寛保3年 (1743)	手水石。正面に「奉寄進手水鉢 金色山 日光寺」、左に造立年月日・願主が記されている。				●		
	20	手水石（日吉神社）	享和3年 (1803)	手水石。正面に「享和三亥二月吉日 当村常右工門」、背面に「当処 常右工門 内丑年」と記されている。現在は利用されておらず、本殿脇に保管されている。				●		
	21	手水石（日吉神社）	文化4年 (1807)	手水石。正面に「漱盤」、背面に造立年月日等が記されている。				●		
	22	手水石（大善寺）	天保14年 (1843)	手水石。正面に「漱盤」、背面に造立年月・施主・石工等が記されている。				●		

※歴史文化ものがたり：①学問・芸術文化のふるさと、②郷土の暮らし、③ため池・疎水と生業、④祭りと信仰、⑤人・物・情報の十字路口、⑥播磨のなかのふくさき

分類	名称	年代	概要	歴史文化ものがたり						
				①	②	③	④	⑤	⑥	
建造物 石造物	23	狛犬（日吉神社）	天保4年 (1833)	石造狛犬。尾の形が横に幅広く彫られていることが特徴である。				●		
	24	開基千三百年記念塔（日光寺）	不明	開基千三百年を記念して建てられた石碑。塔の左右には町石が集めて置かれている。				●		
	25	宝篋印塔（大善寺）	貞享年間 (1684~1688)	宝篋印塔。				●		
	26	宝篋印塔（日光寺）	不明	宝篋印塔。				●		
	27	石段標（日吉神社）	明治40年 (1907)	左右一対の石段標。右柱正面に「当村 氏子中」、左柱正面に造立年月が記されている。				●		
	28	石棺蓋石残欠（大善寺裏山）	不明	家形石棺の蓋石の残欠。大善寺境内の無縁仏の前に写されている。				●	●	
	29	道標（日光寺）	不明	道標。正面には地藏坐像の像容とともに「右□□□ 左□□□」と記されているが判読できない。				●	●	
	30	町石（日光寺）	不明	町石。正面には地藏立像の像容とともに一丁~十二丁の文字が記されている。				●	●	
	31	葦酒石（日光寺）	不明	正面には「不入酒肉 五辛 界内」と記されている。				●		
	32	墓碑（大善寺）	元禄元年 (1688)	墓碑。正面には梵字と「浄月宗清信士」の文字が記されている。大善寺境内の無縁仏のなかにある。				●		
	33	墓碑（西大貫檀徒場）	元禄9年 (1696)	墓碑。正面には造立年月日とともに梵字と「浄秋信女為□□菩提也」の文字が記されている。				●		
	34	墓碑（大善寺墓地）	元禄12年 (1699)	墓碑。正面には造立年月日とともに梵字と「妙道禅定尼 灵位」の文字が記されている。大善寺境内の無縁仏のなかにある。				●		
	35	墓碑（大善寺墓地）	元禄16年 (1703)	墓碑。正面には造立年月日等とともに梵字と「為涼山妙泉信女灵位」などの文字が記されている。大善寺境内の無縁仏のなかにある。				●		
	36	墓碑（西大貫檀徒場）	元禄年間 (1688~1704)	墓碑。正面には造立年月日（年数と日付が判読できない）とともに梵字と「為岸□妙□顕證菩提也」の文字が記されている。				●		
37	松琴先生墓碑（西大貫路傍）	明治12年 (1879)	墓碑。正面には「松琴先生墓」と記されている。	●			●			

※歴史文化ものがたり：①学問・芸術文化のふるさと、②郷土の暮らし、③ため池・疎水と生業、④祭りと信仰、⑤人・物・情報の十字路口、⑥播磨のなかのふくさき

西大貫

分類	名称	年代	概要	歴史文化ものがたり						
				①	②	③	④	⑤	⑥	
建造物 石造物	38	自然石型の石像遺品（日光寺）	不明	正面には梵字が記されている。				●		
	39	角柱型の石造遺品（日光寺）	享保9年（1724）	正面には造立年月日と文字が記されているが判読できない。右と背面に像容が刻まれている。				●		
	40	一石一字祈願塔（西大貫檀徒場）	文化3年（1806）	文化年間に疫病がはやり、疫病退散を願い、神積寺にてお経を河原石一個に一字ずつ書き写し、その石を牛3頭に担わせて当地に運び、祭事に使用した飾り房、経典等を甕に入れて、その周りに写石を入れて塔を建てたと伝わる。				●		
	41	五輪塔（相山古墳南東山腹）	大永2年か（1522）	西大貫にはかつて多くの五輪塔があったが、現在は2か所のみである。日吉神社南の高堂山の八角堂の周りにも多くあった。これらの五輪塔は、大貫山合戦時（大永2年（1522））のものと考えられている。				●		
	42	五輪塔（向山南山裾）	大永2年か（1522）	西大貫にはかつて多くの五輪塔があったが、現在は2か所のみである。日吉神社南の高堂山の八角堂の周りにも多くあった。これらの五輪塔は、大貫山合戦時（大永2年（1522））のものと考えられている。				●		
	43	道標（西大貫路傍）	文化年間（1804～1818）	道標。元は糶屋前の道に位置したが、現在地に移されている。施主人糶屋。「右□い□ふ、いくの」と記されている。				●	●	
美術工芸品 絵画	44	題材不明図（日吉神社）	安政7年（1860）	奉納者は「明石山田屋小三郎」とある。剥落している。54.5×106 cm。	●			●		
	45	源頼政鶴退治図（日吉神社）	安永9年（1780）	奉納者は「当村氏子」とある。127×180 cm。	●			●		
	46	加茂神社競馬図（日吉神社）	天保4年（1833）	奉納者は不明。114×181.5 cm。	●			●		
	47	俳諧額（日吉神社）	明治16年（1883）	奉納者は不明。39.5×188 cm。	●			●		
	48	朝鮮征討見送り図（日吉神社）	明治26年（1893）	奉納者は「吉識彌三郎」とある。105.5×164.5 cm。	●			●		
	49	歌舞伎題材図（日吉神社）	不明	奉納者は不明。4場面。105.5×162 cm。	●			●		
	50	弾丸額（日吉神社）	不明	奉納者は「吉識房治」とある。日露戦役記念。31×38 cm。	●			●		

※歴史文化ものがたり：①学問・芸術文化のふるさと、②郷土の暮らし、③ため池・疎水と生業、④祭りと信仰、⑤人・物・情報の十字路口、⑥播磨のなかのふくさき

分類	名称	年代	概要	歴史文化ものがたり							
				①	②	③	④	⑤	⑥		
美術工芸品	絵画	51	日の丸額（日吉神社）	不明	奉納者は「吉識初枝」とある。2本交叉。36.5×46 cm。	●			●		
		52	羽子板絵馬（日吉神社）	不明	奉納者は不明。計5枚。	●			●		
		53	日光寺白龍大権現図（日光寺）	昭和57年（1982）	画家は「森繁太郎」、奉納者は「姫路市 施主 森繁太郎」とある。60.5×51 cm。	●			●		
		54	弘法大師図（日光寺）	昭和57年（1982）	画家は「森繁太郎」、奉納者は「施主 森繁太郎号淳盛」とある。108.5×199 cm。	●			●		
	工芸品	55	御正体（日吉神社）	天保15年（1844）	西大貫区蔵。				●		
		56	大善寺朝鮮通信使扁額「密花園」	明和5年（1768）	大善寺に伝わる宝暦14年（1764）の通信使写字官李彦佑筆の扁額2面。裏面の墨書等から、室津（たつの市）の宿泊所で書かれたこと、扁額は、						●
		57	大善寺朝鮮通信使扁額「雲頂峯」	明和5年（1768）	明和5年（1768）に藩士の松下甚左衛門高利が作ったことが明らかになっている。						●
	書跡・典籍・古文書・歴史資料	58	西大貫区有文書	—	30件、34点。		●				
		59	奉再建日吉大神拝殿一字惣代氏子中榮昌祈願	明治5年（1872）	117.0×27×0.5 cm。				●		
		60	日吉大神拝殿再建棟札	明治5年（1872）	西大貫区蔵。日吉神社の棟札。総高117.0×上26.5下27.0 cm、厚さ0.5 cm。				●		
有形の民俗文化財	祭具	61	屋台（西大貫区）	—	布団屋根型屋台。屋台の狭間は、川原啓秀氏作の「赤穂浪士討ち入り」で、討ち入り4場面を彫刻した狭間は、播州の中でも西大貫区だけだと言われている。				●	●	
		62	神輿（日吉神社）	明和6年（1769）	西大貫区蔵。日吉神社で保存されている。				●		
無形の民俗文化財	年中行事・民俗芸能	63	秋祭り（大貫）	—	大貫の屋台3台（いずれも布団屋根型）が大年神社に集まる。宵宮では、屋台が町内を巡行し、本宮では南大貫区・東大貫区・西大貫区の順に3台の屋台が大年神社に宮入りする。			●	●	●	
		64	元旦・灯り入れ	—	1月1～3日に日吉神社で行われる。				●		
		65	きつね追い	—	1月第2日曜にとんとともに行われる。五穀豊穡を願って村の中を回る。			●	●		
		66	とんと	—	1月第2日曜に行われる。きつね追いも行われる。				●		

※歴史文化ものがたり：①学問・芸術文化のふるさと、②郷土の暮らし、③ため池・疎水と生業、④祭りと信仰、⑤人・物・情報の十字路口、⑥播磨のなかのふくさき

西大貫

分類	名称	年代	概要	歴史文化ものがたり							
				①	②	③	④	⑤	⑥		
無形の民俗文化財	年中行事・民俗芸能	67	初午	—	2月11日に吉本稻荷神社で行われる。					●	
		68	申祭	—	5月に申を祀っている氏神の日吉神社で神事が行われる。申は魔除けの神様とされている。					●	
		69	祇園祭	—	7月7日に日吉神社西の祇園社で疫病退散のために行われる。					●	
		70	七夕祭	—	夏祭りとして大貫やさい市場で行われる。					●	
		71	千灯供養	—	以前は各家で行っていた盆の精霊送りを、現在では地区全体で行っている。8月15日の夕刻19時頃、村の人たちが盆の飾りものを持って西大貫墓地に集まり、各家の灯笼とロウソクを墓に飾り、灯をともし。経をあげた後、持ち寄った飾り物と灯笼を一カ所に集めて燃やす。					●	
		72	ホットコレン	—	8月に行われる。大善寺でたいまつに火をつけ、西国三十三所道をまわる。老人会・子ども会で実施されている。					●	
		73	彼岸会（秋）	—	墓の掃除を行い、供花やお供えをする。					●	
遺跡	古墳・その他の墓	74	相山古墳	6世紀前半	6世紀前半の築造と考えられる。福崎町内で唯一埴輪を持つ古墳として知られており、埴輪は円筒埴輪と形象埴輪とよばれるものである。 【町指定史跡】				●		
		75	大善寺古墳	古墳時代中期	古墳時代中期の円墳。かつて箱式石棺があり、石室の中には大量のベンガラが塗られていた。山頂と尾根筋に所在する2基の墳丘で、うち1基からは箱式石棺に納められた人骨が出土したとの伝承が残る。				●		
	散布地・集落跡・生産遺跡等	76	西大貫遺跡	縄文時代前期	縄文時代前期の土器が出土しているが、明瞭な遺構は確認されていない。アカホヤ火山灰の堆積層が確認され、その上から土器片が出土している。				●		

※歴史文化ものがたり：①学問・芸術文化のふるさと、②郷土の暮らし、③ため池・疎水と生業、④祭りと信仰、⑤人・物・情報の十字路口、⑥播磨のなかのふくさき

分類	名称	年代	概要	歴史文化ものがたり							
				①	②	③	④	⑤	⑥		
遺跡	城館跡・寺社跡	77	高峰山城跡	嘉吉年間(1441~1443)							●
	街道・古道等	78	北条街道	—							●
	その他の遺跡	79	石灰岩加工窯跡	—		●	●				
名勝地	山岳	80	日光寺山	—		●					
	河川	81	雲津川	—		●					
動物・植物・地質鉱物	植物	82	大善寺のカヤ	—		●					

※歴史文化ものがたり：①学問・芸術文化のふるさと、②郷土の暮らし、③ため池・疎水と生業、④祭りと信仰、⑤人・物・情報の十字路口、⑥播磨のなかのふくさき

西大貫

分類	名称		年代	概要	歴史文化ものがたり						
					①	②	③	④	⑤	⑥	
その他	信仰の場	83	日光寺	—	大化元年(645)、法道仙人により開基されたとされる。真言宗、御室派の中本山。天武天皇の勅願寺、霊元天皇の御猶子の隠居所として栄えた。				●		
		84	大善寺	—	法道仙人開基と伝える真言宗の寺。池田輝政が姫路城築城にあたって国中の神社仏閣に用材を求めたとき、東心柱用材が伐り出された寺として知られる。姫路城から見て鬼門にあたるなど、姫路城と係わりの深い寺である。初夏にはアジサイが境内を彩る。				●		
		85	日吉神社	—	山王宮ともいわれる西大貫区の氏神。境内には、おかげ灯籠(町指定文化財)がある。				●		
	寺社の行事	86	花まつり	—	4月に大善寺で行われる。西大貫区では、古くからこの日を「ハナの日」と言っている。				●		
	民間説話・地名・伝承地・屋号等	87	屋号	—	西大貫には屋号のある家が多くあり、今でも屋号で呼ぶ場合がある。 (例) あめや、こうじや、かさや、もんや、いけのぼう、まえだに、こちょう等						

※歴史文化ものがたり：①学問・芸術文化のふるさと、②郷土の暮らし、③ため池・疎水と生業、④祭りと信仰、⑤人・物・情報の十字路口、⑥播磨のなかのふくさき

歴史文化遺産の保存・活用の取組等

- ・ 伝統文化が集積する西大貫自治会を魅力あふれるまちにするため、伝統文化を残そう会を組織し、会員が協力して伝統文化を守り、継承しながらまちづくりを進めています。
- ・ 区では、相山古墳の古墳周囲の除草作業、老人会では、おかげ灯籠や日吉神社境内の清掃を実施しています。



相山古墳の除草作業